

北海道大学のSDGsの歴史と現在地

北海道大学 理事・副学長 横田 篤 氏

ガバナー公式訪問 RI第2510地区ガバナー 出村知佳子 氏

私たちが今日ここにいるのは、共に平和を推進し、世界をより良い場所にする使命を共有し、より良い変化をつくり出すためだと強く感じています。「四つのテスト」というテーマについてお話ししたいと思います。

私の父もロータリアンでした。これまでにこの話はほとんどしたことはありませんが、聞いていただくと嬉しいです。さて、このノートですが、8年前に私の父が亡くなる直前に残したメッセージが書かれています。ノートには、企業家として「好意と友情を深めるか」「みんなのためになるかどうか」を示す「共存共栄」、日本の文化の中で「真実かどうか」「みんなに公平か」を示す、「お天道様が見ている」、という言葉が繰り返し書かれていました。「共存共栄」とは、私たちが他の人々と共に生き、互いを敬い、お互いの幸福を追求することを意味します。すなわち「好意と友情を深めるか」「みんなのためになるかどうか」の意味を持っています。ロータリーは、国籍、人種、宗教を超えて、人々が互いに理解し、支え合い、平和を推進していく居場所を与えてくれています。また「お天道様が見ている」というのは、私たちが自分の行動や選択に責任を持つべきであることを意味します。私たちの行動がお天道様(神様や自然の力)に見守られ、誠実さと高潔性を持って行動する「真実かどうか、みんなに公平か」を意味しています。

このように、「四つのテスト」は、私たちロータリアンが持つべき「価値観」や「行動規範」を示しています。そして、「共存共栄」は、私たちが社会に貢献し、人々と理解し合い、共に世界をより良い場所にするための基本です。ロータリーが「四つのテスト」を長い間大切に繋いできたのです。一方で、この「四つのテスト」は、私たち世代にとっては少し解しい言葉であることも感じ、今の時代の倫理観と融合させる必要があります。現在ロータリーが大切にしている「DEI」と「四つのテスト」のメッセージが融合してからは、若い世代の心により強く響くようになりました。

「DEI」は、共存共栄の理念をより具体的に表わし、社会のあらゆる人々が平等に参加し、認められることを目指しています。それは個人の哲学以上のものであり、世界でより公平な社会を築くための価値体系なのです。私たちが、ロータリー会員として、「四つのテスト」と「DEI」の両方を自分自身の生き方に取り入れることはとても重要です。四つのテストは、私たちの一人ひとりが社会に大きな良い変化を与えられることを示しています。DEIは、すべての人に対する善意を広げることによって、希望を広げ、平和の土台をつくることを示していると思います。この使命を胸に、来るガバナー年度を、共に努力し、共に成長し、次世代に繋ぐことができたなら、ロータリアンとして、1人の人間として、この上ない幸せです。ありがとうございました。

この他、スライドを使って、
・今年度テーマ「The Magic of Rotary」「ロータリーのマジック」のロゴである流れ星は、オレンジは変化、ブルーは知性や信頼を表し、自分自身世界を変えながら共に前進したいという熱い思いを表している。

・「行動計画」はクラブでの体験を魅力的なものにするためのもの、過去50年のやり方を見直す時がきている、クラブの衰退・会員減少は地域社会のニーズに合っていないのかもしれない。クラブ会員の意向や入会候補者との対話によりロータリーを時代に即した存在に導くことができる。「新しい形」での奉仕活動実施中心の新クラブ Companionも誕生している。

・DEI + Belonging(帰属意識)の重要性、DEIを受け入れ「行動志向の次世代の人たち」をオープンな心で迎えて「共通の目的のために結束する」ことが大切。ロータリーは時代に即した存在になるべき。

・クラブの魅力を伝える語り部(storytellers)により、「積極的平和」を広げることができる。「平和構築」は大切な最優先事項のひとつ。「イスタンブール・パルチェンシエヒル大学」に平和センターを新設されます。2025年2月「ロータリー会長平和会議」では「分断された世界を癒す」がテーマで、平和構築の手段が「四つのテスト」。唱和するだけではなく、それを実践することが重要。自身の中に平和を見出すことが大切で、世界平和につながる。

・「Well Being」思いやりある行動が、不安な心を和らげ、社会的な繋がりを効果的に促すことができます。ひとりひとりの身体的、精神的、社会的に良好な状態につながっていく。

・「2024-25のテーマ」を聞く準備はできていますか？ドミニカ共和国に浄水器の設置のために赴いたときの話。浄水器から透明な水が出て来るのを見た少年の1人が、私の袖をつかみ「Show me the magic again.」と言った。浄水器が魔法ではなく、沢山の人が協力して活動したことが大切。少しでもその力になれたことを知って「私の人生も変わった」

・行動計画を前進させる「四つの優先事項」

①より大きなインパクトをもたらす(IMPACT):ロータリーの行動によってもたらされる長期的な変化、奉仕活動と平和推進、ポリオ根絶、財団への寄付推進

②参加者の基盤を広げる(REACH):会員増強、公共イメージ、ロータリーの価値の共有、DEI

③参加者の積極的なかわりを促す(ENGAGE):クラブでの魅力的な体験や奉仕活動、会員満足度の向上、ローターアクトとの協力

④適応力を高める(ADAPT)

:DEI+Belonging、テクノロジーの利用と変化の対応

そして行動計画の「3年計画と目標」が7月1日から始まりました。

その準備としてまずは、全てのクラブにクラブセントラルに登録いただくよう、お願い致します。

三大研修のサイトのリンク参照

